



World Triathlon
Championship Series
YOKOHAMA
2021

2021ワールドトライアスロン・ パラトライアスロンシリーズ横浜大会

安全・安心の大会開催に向けた取組について

「2021ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」が令和3年5月15日、16日に開催されます。現在、神奈川県にまん延防止等重点措置が発出されており、万全の感染防止対策を講じ、安全・安心な大会運営を行ってまいります。

- ①海外からの受入選手等と一般の方との接触はありません。
- ②無観客による大会開催とします。

※大会会場や沿道での応援は自粛し、テレビ・オンラインでの応援をお願いいたします。

安全への取り組み

基本的な感染症対策に加え、主に次の安全対策に取り組めます。

1 海外からの選手等の受入対策

- ・スマートフォンのアプリを利用し、入国14日前から健康管理を実施するとともに、出国前(72時間以内)に感染症陰性証明を取得してから来日します。入国時には空港の検疫所で抗原検査を行います。
- ・陽性判明時の行動確認のため、接触アプリ及び位置情報アプリへ登録します。また、入国後3日目、競技日前日、競技終了後にPCR検査を実施します。
- ・公共交通機関を利用せず、専用車で移動し、滞在ホテルでは、一般利用客との接触を避けるため、宿泊フロア及び動線を分離します。また、滞在期間中の行動は、食事を含め、競技会場、練習会場等と宿泊場所の往復のみに限定します。

⇒これらの対策を含め、スポーツ庁を通じて関係省庁と協議し、「海外選手受入計画」を策定しました。

2 大会関係者の体調管理の徹底

参加者やスタッフなど、大会に関わるすべての人は、WEBページ上やチェックシートにより、大会14日前から体調チェック及び行動記録を行うとともに、当日の検温や体調に応じた問診により「健康が保たれていること」を確認します。

3 エイジグループ競技時の密集回避

選手間の集密を回避するよう、スイムスタートを5秒間隔で2名ずつのローリングスタートとし、バイク及びランのコースを一部変更しました。

4 無観客による開催

会場や沿道での観戦、応援を自粛し、テレビ、オンラインでの自宅等からの応援を呼びかけています。また、参加者(パラトライアスロンなど)の同伴者については最少人数とするよう案内しています。期間中、山下公園特設会場では、一般の方の入場規制を行い、コース沿道では、三密回避の徹底が図られるよう、セーフティーキーパー(三密回避巡回員)や警備スタッフ等(約500人)による注意喚起を行います。

5 シンプルな大会運営

安全に競技を行うことを第一に考え、競技説明会はオンラインで実施し、EXPO(山下公園内の物販、ステージイベント)等のイベントは中止します。

6 感染症対策マニュアル等の徹底

感染症専門家の監修により、「海外選手受入計画」(再掲)及び大会に関わるすべての人の共通の指針となる「コロナ対策マニュアル(New Standard Yokohama)」を作成し、感染症対策を徹底します。

※ 取組の詳細については大会公式サイト(<http://yokohamatriathlon.jp/wts/index.html>)をご覧ください。

2021大会概要

大会名称	2021ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会
主催	世界トライアスロンシリーズ横浜大会組織委員会
開催日程	令和3年5月15日(土)・16日(日) ・15日(土)：エリート・エリートパラトライアスロン(男子/女子) ・16日(日)：エイジグループ(一般/エイジパラトライアスロン/リレー)
会場	山下公園周辺特設会場
テレビ・オンライン 放送予定	■エリート・エリートパラトライアスロン NHK BS1(生中継)/Triathlon LIVE(インターネットLIVE配信) ■エイジグループ インターネットLIVE配信
参加予定者	■エリート・エリートパラトライアスロン：約190人(38の国と地域) ※関係者を含め約350人 ■エイジグループ：約1,500人

お問合せ先

市民局 スポーツ振興課担当課長	高向 勉	TEL 045-680-5538
(公財) 横浜市スポーツ協会 トライアスロン推進担当部長	中川 修二	TEL 045-680-5538

※お問合せや取材についてはトライアスロン推進担当部長までお願いします。